

2009年度

科目名	西洋史概説B		
担当教員	小林 典子		
配当	文財2・人社2	コード	13630
開期	後期	講時	月曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	西洋史入門ールネサンスから現代までー		
目的と概要	遠くは古代ギリシャ・ローマに源を発し、現代まで悠々とながれるヨーロッパの歴史を、ルネサンス時代から現代までを概観します。ヨーロッパの歴史と文化がどのようなものであり、また、わたしたちの生活にどのような意味をもつのか。ヨーロッパ史のもつ、歴史的時間の限りない深さと広大さ、そして豊饒さを実感しえる授業にしたいと思います。授業は建築・彫刻・絵画・都市などの数多くの視覚資料を、スライドやビデオなどの教材を用いて紹介しながらおこないます。		
成績評価法	学期末に提出するレポート+平常点や授業時のミニ・レポート		
テキスト	授業中に資料配布		
参考書	『<ビジュアル版>ヨーロッパの革命 二重革命の時代ーフランス革命と産業革命ー』(遅塚忠躬 講談社) 『山川世界史総合図録』および必要に応じて指示		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
第1回 開講にあたって:授業プログラムとオリエンテーション 第2回 書物の歴史と言説 第3回 近代の夜明けとしてのルネサンス 第4回 ルネサンス概念の成立 第5回 ルネサンスの開花 第6回 ルネサンスの成熟 第7回 ルネサンス概念の検証と問題点 第8回 ルネサンスを準備したもの(1)アラビア世界と「12世紀ルネサンス」 第9回 ルネサンスを準備したもの(2)十字軍と東方世界との交流 第10回 もうひとつのルネサンス:ユマニスム(人文主義) 第11回 近代市民社会の成立(1) 第12回 近代市民社会の成立(2) 第13回 「近代」がかかえる問題ー新世紀にむかっのさまざまな実験 第14回 「ポスト・モダン」と現代 第15回 まとめ			